

沖縄県保険医協会会員数
833名
(11月1日付 現勢)
全国保険医団体連合会会員数
107,094名
(11月1日付 現勢)

沖縄 保険医新聞

発行所 沖縄県保険医協会
〒902-0078 那覇市字識名1195-1
大城産業ビル106号
TEL (098) 832-7813
FAX (098) 832-4482
https://okinawa-hk.com
発行人 高嶺朝広
年間講読料1800円(会員の購読料は会費に含む)

第38回保団連医療研究フォーラム開催

いのちと暮らしを支える医療



10月8日・9日に東京で第38回保団連医療研究フォーラムが開催された。沖縄協会から現地参加した樋口副会長分科会で演題発表した宮良和利先生の参加報告を掲載する。

1. 記念講演：京都大学名誉教授、山極壽一氏

山極氏は、京都大学総長を務められた方だが、ゴリ



発表する宮良和利先生

2. シンポジウム「認知症に向き合う医療」
2日目の午後のシンポジウムでは、①補聴器使用と認知症について、②認知症疾患医療センターの立場から、③口腔から認知症予防を考えるとといった内容であった。印象に残ったことを列挙させていただく。

ラの研究家として広く知られている。今回の講演でも、人類とゴリラ(霊長類)を比較しながら私達へ課題を提供しているように思えた。

さて、人類の人口はこの100年で4倍になり、現世界人口は80億人、さらに増加の見込みもある。その背景には、①狩猟中心の生活から農耕や牧畜に変わり食糧事情が向上した。②産業革命以降、各種利便性・公衆衛生等が向上した。総じてQOLの向上がある。

しかし、人類特有の「飽くなき欲望」の産物として人工的(不自然な環境・各種の管理(制約)・紛争・自然破壊等)が世界的規模で起こり続けており、それはゴリラ達の社会性とは大きく異なる。今後、増え過ぎた欲望の産物やバーチャルな世界観の進展に伴い、文化の衰退が気かかりであるという。かつては言語を持たずとも互いの意志を交わり、生きる糧を分けあった「人」という生物の根源的な文化を未来に絶やさないことも大切であろうと認識した。

(1) 日本の補聴器使用率は先進国に比べ相当に低く、改善が望まれる社会課題といえる。そして、難聴の放置は、人との交流(会話)が減少し孤立を招きやすい。その孤独感からうつ病や認知症発症に繋がりがやすい。

(2) 日本は長寿世界一であるが、平均寿命と健康寿命の差(女性12年・男性8年)は介護や支援を必要とする期間となる。要介護の原因1位が認知症であり、65歳以上の20%が認知症を持つているとされる。

(3) 認知症患者を支えるには家族や医療者だけでは不足であり、まちぐるみ・地域ぐるみの支え合いが望ましい。皆で楽しく食事することも認知症患者の大きな支えとなる。また、年齢に関係なく人に必要とされ社会参加できる「幸齢者」になることも発症抑制の要となると理解した。当然、行政面の支えも強く望まれる。

(4) 細菌由来の歯周病患者には、主原因となるPg菌の全身感染(全身炎症)と脳外のアミロイドβの増加が起きやすい。一方脳内では、Pg菌由来のLPS(リポ多糖体)による記憶の低下や脳内炎症の誘発、アミロイドβの蓄積が見られることがマウスの実験等で明らかになっている。日本人の歯周病罹患率の高さからも、歯周病管理がアルツハイマー型認知症の発症の遅延、進行抑制に大きく貢献することが示唆された。

参加記
副会長 樋口 豊
去った10月、都市センターホテルで開催された医療研究フォーラムに参加しました。今回のフォー

ラムも分科会やポスターセッションは多岐にわたり、特に新型コロナウイルス、ワクチンそしてオンライン資格確認などの演題が散見されました。

その中でも、特に興味深かった発表は、横山靖弘先生(東京歯科の「喉頭摘出後の代用音声の実態人工喉頭(Voice Retrieval)」について)でした。横山先生ご自身が昨年9月に中咽頭癌で喉頭摘出の手術を受け、「既存の代用発声法が使用できない人でも発声可能」という方法のご発表でした。

また、ポスターセッションでは福岡県歯科保険医協会の「訪問診療部会の取り組み」は興味深いもので

した。30年前、私が往診を始めた頃に、月刊保団連に往診の特集がありました。その冊子を何度も読み返し、まだポータブルユニットが高価だった時代でしたので、いろいろな器具を手作りしたことを思い出しました。

今回は以前と違った発表のスタイルだったので、保団連の方に聞いてみると「オンデマンドで全国に配信をするために、発表のデータをZOOMウエビナー上にあげ、それを会場やオンデマンドで流す」という方法だそう、専門的な作業が必要のため、業者さんを入れて準備と操作をしてもらっているそうです。その為にパソコンの



樋口豊 副会長

9月23日・24日の連休札幌にて第33回反核医師の集いが開催された。開会にあたり、国連・広島市・長崎市・医療関係5団体、その他多くの個人と団体から活動の支持と開催を祝うメッセージが寄せられたと報告があった。

さて今回は、戦後の日本の史実について分かりやすく解説されたベストセラー『戦後史の正体』の著者で外務省国際情報局長を務められた孫崎亨(まござきうける)氏の記念講演を興味深く拝聴した。

孫崎氏は、外務省時代に

操作をしながら、座って発表される先生が大半でしたが、私としてはやはり、立って喋ったほうが気合が入るので、たまたま隣に座っていた天野先生にスライド係をお願いしました。カラオケでも立って歌わないとノリません。

「新製義歯のリライニング」という演題で発表した私の動画は、沖縄県保険医協会のサイトからご覧いただけます。来年のフォーラムは愛媛県であります。みやら歯科医院 宮良和利

【協会HPはこちら】
https://okinawa-hk.com

我が国では国民の権利と責任によって政治家を選んでいるが、果たして未来に相応しい人達なのか否か、私達は真剣に再検討すべきと思える。

副会長 樋口 豊

「よき書物を読むことは、過去の最もすぐれた人たちと会話を交わすようなものである」

とはデカルトの言葉。古今東西のすぐれた人に接することができるといえるのは読書における大きな喜びだ。自分の心の中に失いたくない言葉のたくわえ場所をつくり出す喜びを噛みしめる秋。今日も古典を読もう。

N・K

反核医師の集い2023

孫崎氏は、我が国の情報操作(報道統制)についても触れた。それは、多くの大企業が絡む多様な企み(陰謀)とそれと繋がる政治家達に都合の規制があり、意図的に社会の主流が作られていく。つまり、我が国の主たる報道は、プロパガンダに操られているということである。もちろん、そこでも米国隷従の影響は大きいはずだ。

だから、正しい情報は自分で努めてゲットする。そこから、世界(日本)沖縄(地域)個人とスケールを調整して自らの行動指針を考えるべきかもしれない。

来年の秋には「反核医師の集いin沖縄」が開催決定している。

何度でも申し上げるが「子や孫の幸せを願う人、明るく平和な未来を願う方、是非一緒に！」とお願ひする。

副会長 樋口 豊

「よき書物を読むことは、過去の最もすぐれた人たちと会話を交わすようなものである」

とはデカルトの言葉。古今東西のすぐれた人に接することができるといえるのは読書における大きな喜びだ。自分の心の中に失いたくない言葉のたくわえ場所をつくり出す喜びを噛みしめる秋。今日も古典を読もう。

N・K

読書

「読書の時間を大切にせよ。1冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあるのだから」(ジョセフ・マリー)。

書齋を見回すと、読む気満々で購入したのにほとんど手をつけていないたくさんの本。読書の秋、一念発起し積読(つんどく)してあった本を読むと心に決めた。秘密兵器として、座り心地抜群のリクライニングチェアを購入して中庭においた。ゆったりとした環境で読書をするこの作戦は大成功！心地よい秋風を肌で感じながら、読書に集中できる。空を見上げると秋の雲が、姿を変えて楽しませてくれる至福の思索時間。無駄に忙しくなっている生活を整理することができると人生はそれだけ豊かになることに気づく。くだらないテレビ番組を観ることは少なくなつた。落ち着きを失っているストレス社会において、心に落ち着きを与えてくれる読書の意義は絶大だ。

副会長 樋口 豊

読書

「読書の時間を大切にせよ。1冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあるのだから」(ジョセフ・マリー)。

書齋を見回すと、読む気満々で購入したのにほとんど手をつけていないたくさんの本。読書の秋、一念発起し積読(つんどく)してあった本を読むと心に決めた。秘密兵器として、座り心地抜群のリクライニングチェアを購入して中庭においた。ゆったりとした環境で読書をするこの作戦は大成功！心地よい秋風を肌で感じながら、読書に集中できる。空を見上げると秋の雲が、姿を変えて楽しませてくれる至福の思索時間。無駄に忙しくなっている生活を整理することができると人生はそれだけ豊かになることに気づく。くだらないテレビ番組を観ることは少なくなつた。落ち着きを失っているストレス社会において、心に落ち着きを与えてくれる読書の意義は絶大だ。

読書

「読書の時間を大切にせよ。1冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあるのだから」(ジョセフ・マリー)。

書齋を見回すと、読む気満々で購入したのにほとんど手をつけていないたくさんの本。読書の秋、一念発起し積読(つんどく)してあった本を読むと心に決めた。秘密兵器として、座り心地抜群のリクライニングチェアを購入して中庭においた。ゆったりとした環境で読書をするこの作戦は大成功！心地よい秋風を肌で感じながら、読書に集中できる。空を見上げると秋の雲が、姿を変えて楽しませてくれる至福の思索時間。無駄に忙しくなっている生活を整理することができると人生はそれだけ豊かになることに気づく。くだらないテレビ番組を観ることは少なくなつた。落ち着きを失っているストレス社会において、心に落ち着きを与えてくれる読書の意義は絶大だ。

副会長 樋口 豊

読書

「読書の時間を大切にせよ。1冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあるのだから」(ジョセフ・マリー)。

書齋を見回すと、読む気満々で購入したのにほとんど手をつけていないたくさんの本。読書の秋、一念発起し積読(つんどく)してあった本を読むと心に決めた。秘密兵器として、座り心地抜群のリクライニングチェアを購入して中庭においた。ゆったりとした環境で読書をするこの作戦は大成功！心地よい秋風を肌で感じながら、読書に集中できる。空を見上げると秋の雲が、姿を変えて楽しませてくれる至福の思索時間。無駄に忙しくなっている生活を整理することができると人生はそれだけ豊かになることに気づく。くだらないテレビ番組を観ることは少なくなつた。落ち着きを失っているストレス社会において、心に落ち着きを与えてくれる読書の意義は絶大だ。

読書

「読書の時間を大切にせよ。1冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあるのだから」(ジョセフ・マリー)。

書齋を見回すと、読む気満々で購入したのにほとんど手をつけていないたくさんの本。読書の秋、一念発起し積読(つんどく)してあった本を読むと心に決めた。秘密兵器として、座り心地抜群のリクライニングチェアを購入して中庭においた。ゆったりとした環境で読書をするこの作戦は大成功！心地よい秋風を肌で感じながら、読書に集中できる。空を見上げると秋の雲が、姿を変えて楽しませてくれる至福の思索時間。無駄に忙しくなっている生活を整理することができると人生はそれだけ豊かになることに気づく。くだらないテレビ番組を観ることは少なくなつた。落ち着きを失っているストレス社会において、心に落ち着きを与えてくれる読書の意義は絶大だ。

「健康保険証の存続」を強く求める

県連絡会結成に向けて記者会見を開催

10月20日、来年秋に保険証を廃止する国の方針に対し健康保険証の存続を求める「健康保険証廃止反対沖縄県連絡会」結成に向けて県庁で記者会見を行い、協会から仲里尚実理事が参加した。

冒頭のあいさつで仲里理事は、マイナ保険証も含めたマイナンバー政策が決して国民の要望ではないことを強調し、マイナ保険証の県内利用率が著しく低い状況にも関わらず、全国の医療機関で多くのトラブルが生じており、国民皆保険制度を守るため

にも現行の保険証を廃止することは一旦見送るべきと訴えた。会見で、協会が今年5〜6月に実施した「オンライン資格確認トラブル」会員調査では約半数の医療機関でマイナ保険証の読み込みエラーなどのトラブルが生じており、7〜8月に実施した保団連の全国トラブル調査でも約66%の医療機関でトラブルを経験、県内回答者の90%以上が現行の保険証が必要だと回答していることなどを報告した。

また、沖縄民医連が介護事業所や利用者などに9〜10月に実施したマイナ保険証に関する調査でも、マイナ保険証の管理や紛失時の対応などに大きな不安があるとの声が多く、回答者の88%以上が現行保険証の存続を求めていることが明らかになった。

最後に、保険医協会、県社会保障推進協議会、沖縄医療生協、沖縄民医連、沖縄にじの会、県医労連の6団体が共同で、国民皆保険制度の根幹を揺るがしかねない現行保険証廃止をストップさせる運動に取り組んでいくことを表明し、



現行保険証を残すことへの賛同を呼びかけた。11月17日に那覇市の沖縄産業支援センター(WEB参加可)で結成総会を開催予定。

抄論

2024年第34回反核医師の集いin沖縄

会長 高嶺 朝広

来年2024年11月、20年ぶりに沖縄で「第34回反核医師の集いin沖縄」が開催される。反核医師の会は、命と健康を守る立場から核廃絶と国際平和を求める医師・歯科医師・医学者の団体である。当協会も現地実行委員会に参加し、準備をしていくこととなった。

20年前の2003年11月1日・11月2日に「第14回反核・医学者のつどいin沖縄」が開催された。当時は米国がイラク戦争を起し、沖縄では稲嶺県政下で普天間飛行場移設問題において「軍民共用の飛行場」が議論されていた時期である。「21世紀沖縄から核・基地・戦争を問う」の

テーマで開催された。現在、世界はさらに混乱を深め、核戦争が現実の脅威となつている。昨年より続くロシアとウクライナの戦火は終わりが見えず、プーチン大統領は核兵器の使用も辞さないと言いつつ、核戦争のリスクをかけており、核戦争のリスクがかつてなく高まっている。

10月7日ハマスがイスラエルに攻撃し民間人250人以上を人質にとった。イスラエルがガザ地区にロケット弾で報復を行い地上軍が侵攻をはじめ、ガザ地区の民間人に多くの犠牲者がでていく。

北朝鮮からのミサイルが沖縄近海に落下し、夜中に携帯電話の警報音でたき起こされる日々もある。台湾有事の危険性が高まったと、八重山にミサイル迎撃基地をつくり、自治体は避難計画や核シールドの建設を希望している

と報道されている。20年前からは、想像もつかないほどの緊迫した状況になっている。

しかし、私たちは健康と平和のために尽力するといふ医療者としての責任と使命を果たすために、国家・地域の違い、世代の違い、価値観の違い、思想宗教の違いで分断するのではなく、互いを認め合い、不足を補いあつていく行動をすることが重要である。

2017年7月に、パレスチナガザ地区で診療を行っていたサリム医師が猫塚医師(北海道パレスチナ医療奉仕団)と一緒に沖縄を訪ねた。非暴力で新基地反対を訴え続ける沖縄の運動を学び連帯したいとの気持ちで沖縄に来たことであつた。ガザ地区にも沖縄の平和をもとめる非暴力の運動は届いている。

ガザ地区に一日も早く平和が訪れることを願う。

世界が戦争に向かう圧倒的な流れの中で、沖縄から平和をもとめ核兵器廃絶を求める非暴力の運動を始めよう。その新たな一歩として、「第34回反核医師の集い」を開催していきたい。

懇談では例年どおり6項目(国保、子ども子育て支援、介護、障がい者支援、生活保護、年金・高齢者支援)の要請について、それぞれ意見交換を行った。

第1章国保問題では、2024年度の国保統一が2024年から2026年以降に先延ばしになる中、改めて法定外繰り入れの継続等により保険料を引き上げないよう要請した。また全日本民医連が調査した受診手遅れ死亡事例を確認し、無料低額診療拡充の必要性を訴えた。

第2章子ども・子育て支援では、複数の自治体で子ども医療費無料の年齢拡充(18歳以上)に向けて検討を始めており、協会が取り組んでいる賛同団体署名(現在、28首長の署名集約)と個人署名への協力を呼びかけたところ、恩納村から180筆の個人署名が届き、自治体にも協力の輪が広まりつつある。また、学校給食費無料化についてはコロナ交付金による完全無料

化が複数の自治体で実施されており、交付金終了後も継続するよう要請した。保育士不足は全自治体で課題となっており、配置基準及び処遇改善による人材確保について理解を深めた。

第3章介護問題では、政府による介護保険改悪の方針に多くの自治体から反対の声が上がっており、第4章障がい者支援では、この間訴えてきた65歳以上の障がい福祉サービス継続について理解が広がり、ほとんどの自治体で柔軟に運用されていることが確認できた。

第5章生活保護問題では、那覇市と豊見城市で制度広報ポスターが作成されたことを周知し、捕捉率の引上げと併せて制度を権利として利用できる環境整備に努めるよう求めた。

2023年度県社保協自治体キャラバン

国保・介護の制度改悪にストップの声を加齢性難聴への補聴器購入補助拡大

保険医協会も含めて県内25団体(医療福祉、労働組合、障がい者団体など)と賛同する個人で構成される沖縄県社会保障推進協議会(会長/新垣安男)は、2023年度の自治体キャラバンを8月に本島北部地域から開始し、昨年実施できなかったうるま市での懇談が実現したことで本島内の全27自治体(県庁含む)と先島の12自治体(宮古島市、多良間村、南大東村は延期)で実施した。本会は中部ブロックの責任団体として

14自治体との懇談に参加し、県庁、浦添市、うるま市では対面の懇談となった。

懇談では例年どおり6項目(国保、子ども子育て支援、介護、障がい者支援、生活保護、年金・高齢者支援)の要請について、それぞれ意見交換を行った。

第1章国保問題では、2024年度の国保統一が2024年から2026年以降に先延ばしになる中、改めて法定外繰り入れの継続等により保険料を引き上げないよう要請した。また全日本民医連が調査した受診手遅れ死亡事例を確認し、無料低額診療拡充の必要性を訴えた。

第2章子ども・子育て支援では、複数の自治体で子ども医療費無料の年齢拡充(18歳以上)に向けて検討を始めており、協会が取り組んでいる賛同団体署名(現在、28首長の署名集約)と個人署名への協力を呼びかけたところ、恩納村から180筆の個人署名が届き、自治体にも協力の輪が広まりつつある。また、学校給食費無料化についてはコロナ交付金による完全無料

会員限定

歯科施設基準対応研修会の「e-ラーニング」のご案内

この度、長崎県保険医協会のご協力のもと、歯科の施設基準の要件に係る研修が「e-ラーニング」により受講できることとなりました。「歯初診」に関する受講のみを選択することもできます。

受講内容が関係する施設基準

- ・ 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準(歯初診)
- ・ 歯科外来診療環境体制加算1及び2(外来環)
- ・ かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所(か強診)
- ・ 在宅療養支援歯科診療所1及び2(歯援診)

協会会員であれば、オンラインにより無料で研修が受講できます。受講を希望される場合は、沖縄県保険医協会へご連絡をお願いします。研修動画を視聴していただき、最後にテストを受けていただきます。後日、事務局にて視聴時間及びテストの結果を確認した上で、受講修了証を郵送いたします。ぜひご活用ください。

共済部より

休業されたらすぐに協会にご連絡を!

2023年10月度休業保障共済保険給付実績(3件)

	口数	入院	自宅療養	給付金額
A先生	5口	0日	62日	1,860,000円
B先生	5口	206日	67日	10,250,000円
C先生	5口	0日	17日	255,000円

開業・就業状況、住所変更、勤務先変更などがありましたら、速やかに協会事務局(☎098-832-7813)にご連絡下さい。



第6章年金・高齢者問題では、認知症予防に繋がる加齢性難聴への補聴器購入助成制度実施に多くの自治体から理解が示され、実施予定も含めて昨年度の6自治体から9自治体に拡大していることが確認できた。

今回、多くの自治体で社保協が取り組んできた社会保障拡充運動の成果が確認でき、引き続きキャラバンで自治体との情報共有を図りながら、県民の命と健康を守る運動に取り組んでいく。

口腔顔面痛(Orofacial Pain) 歯痛・顎関節症と誤認しやすい疾患の鑑別法

第1回 三叉神経痛



井川 雅子 (静岡市立清水病院口腔外科)

特徴と診断の遅れ

三叉神経痛は、三叉神経に生じる発作性の神経障害性疼痛で、瞬間的(秒単位)な電撃様疼痛を主症状とし、通常50歳以上で発症する。三叉神経の第2、3枝に好発するため、患者には「歯痛」と感じられることが多いが、80%以上の患者は最初に歯科を受診する(図1)。歯髓疾患と誤診して抜髄を行わないよう注意が必要である。他にもプライマリケアなどを受診することがあるが、初診時に正しく診断されたのは17.6%に過ぎず、正しく診断されるまでに平均7か月かかるという報告がある。患者が「歯科治療をきっかけに発症した」と訴える場合もあるが、おそらく発症初期に患者自身が歯痛と誤認して歯科を受診し、その後症状が増悪したことによる誤解ではないかと思われる。

治療

薬物療法は治療の第一選択はカルバマゼピン(CBZ)・テグレトール®による薬物療法である。CBZは有害作用が多い薬で、悪心、めまい、ふらつきなどが生じるため、100mg/日(就寝前)より開始し、漸増するのが得策である。患者の約10%には薬疹が発現し、中止を余儀なくされる。同様に、開始早期に造血機能障害が生じ、血小板や白血球が著明に減少することがあるため、必ず血液検査でモニタリングを行う必要がある。

非歯原性歯痛

Orofacial Pain(口腔顔面痛学: OFP)は、口腔顔面部に「痛み」を生じさせる疾患の診断と治療、研究を行う歯科の新たな分野である。高いのは歯痛であるが、歯が原因ではないにもかかわらず「歯痛」と感じられる疾患は数多くあり「非歯原性歯痛(nonodontogenic toothache)」と呼ばれる(表1)。三叉神経痛はこの代表である。

分類と病態生理

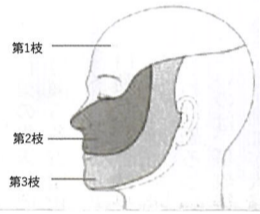
国際頭痛分類(ICHD-3)は三叉神経痛を、3種類に分類している(表2)。三叉神経痛の9割は加齢により硬化した脳血管(動脈・静脈)が、三叉神経を圧迫することで生じる典型的三叉神経痛であるが、残りの1割は脳腫瘍や多発性硬化症、脳動脈瘤奇形などの疾患が原因の二次性三叉

癒着の剥離などにより改善することがあるため、脳神経外科医に意見を求めることよ。

①筋・筋膜痛による歯痛
②神経障害性疼痛による歯痛 発作性: 三叉神経痛など 持続性: 帯状疱疹後神経痛、帯状疱疹後神経痛など
③三叉神経・自律神経性頭痛による歯痛(群発頭痛など)
④上顎洞疾患による歯痛
⑤心臓疾患による歯痛(狭心症など)
⑥精神疾患または心理社会的要因による歯痛(身体症状症、統合失調症、うつ病など)
⑦特異性歯痛(いわゆる非定型歯痛)
⑧その他の様々な疾患による歯痛(悪性腫瘍など)

13.1.1 三叉神経痛
13.1.1.1 典型的三叉神経痛 13.1.1.1.1 典型的三叉神経痛、純粋発作性 13.1.1.1.2 持続痛を伴う典型的三叉神経痛
13.1.1.2 二次性三叉神経痛 13.1.1.2.1 多発性硬化症による三叉神経痛 13.1.1.2.2 占拠性病変による三叉神経痛 13.1.1.2.3 その他の原因による三叉神経痛
13.1.1.3 特異性三叉神経痛 13.1.1.3.1 特異性三叉神経痛、純粋発作性 13.1.1.3.2 持続痛を伴う特異性三叉神経痛

図1 三叉神経の各枝の支配領域



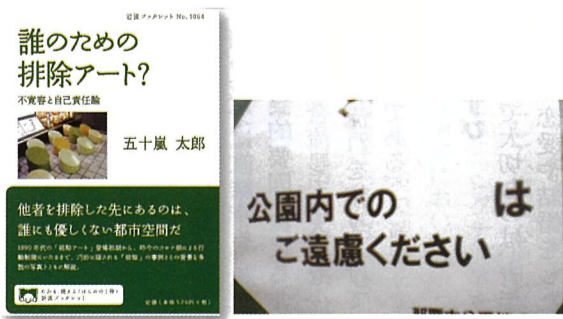
「誰のための排除アート？」

五十嵐 太郎著 岩波ブックレット

駅や公園など公共施設のベンチを観察すると、新しくできたベンチにはすべて一人ずつ座るための仕切りが入っています。この仕切りは、寝転がることのできないようにするために取り付けられたものです。ベンチだけではなく、近年、駅や公園など公共の場所でも寝転んだり暮らしたりできないようにするいろいろ仕組みが増えています。そこには一見芸術作品まがいのものもあります。本書はそのような「排除アート」を研究した本です。

当初、駅や公園で生活する人の排除を目的として始まったこれらの動きは、しだいにそれ以外の人々の生活にも及んでいます。その結果「公共の場所」がどんどんむしばまれていきます。隣接する公園の子どもたちの声がうるさいという苦情や、ジャングルジムやブランコが危険だからと撤去する動きのために、公園であそぶ子ども姿が少なくなっています。学校襲撃事件を機に、かつては週末には自由に遊べた学校のグラウンドが立ち入り禁止になりました。ふりかえってみるとこの20年ほどで私たちの「公共空間」は加速度的に狭められています。かわりにできていくのは、見かけだけはきれいだけれど、くつろぐこともやすらぐこともできない空間と、企業の名前を冠した商業的な施設です。あなたの子どもや孫は公園で遊んでいますか、恋人たちは公園のベンチで肩をよせあえますか。本書はそういう公共の場の変容を問いかけています。近くの公園でこんな看板をみつけました。風雨のために肝心のところが消えてしまっているのです。「公園内の〇〇は遠慮ください」。私はここに「排除」と書いてほしいと思います。

オリブ山病院 横田 泉



診療雑感 58 流浪の民

船越歯科医院 座覇 修好

最近、沖縄でも外国人労働者が増え、コンビニ、ホテル、空港など身近な所に進出してきている。うちの診療所の近くにも、インターナショナルスクールができ、インドネシア、フィリピン、アメリカからの講師などが増え時々患者として訪れる。

ある日、フィリピン人の夫婦が訪れ、奥さんの痛みの治療を訴える。見るとややお腹が大きい。妊娠7か月ほどという。麻酔も忍び

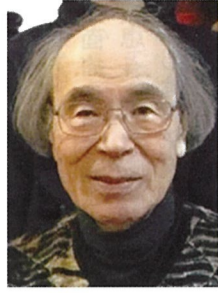
ないで痛みを取り除く処置のみに集中することにしました。話を聞くと、これから一週間後にフィリピンに帰って結婚式を挙げて、その後再度日本に帰ってきて出産するという。旦那さんはよく気が利く方で、私が手書きで描いた下手なうちの診療所の駐車場の案内を見て不便に思ったのか、わざわざスクールのパソコンで案内図を打ち込んできて2部プレゼントしてくれた。有難く待合室に案内図として貼り付けてある。

高度なネット環境の中で、若い世代の人々は知識も行動範囲も広くなり、一つの地域に腰を据えて定着というよりも、漂流の中でより合理的なマッチングを模索している感じがする。沖縄からの退去の日も慌ただし、冷蔵庫、ソファなどの欲しい人探しのピラを待合室においてほしいとのこと、あの駐車案内図と共に据え置かれた。明らかに我々の時代とは異なる行動変容の結果がどの様な未来へとつながるのか見守ってきたい。

新連載⑥

日本住民は「二重の凄まじい核戦争の餌食にされてきた！」

琉球大学名誉教授 矢ヶ崎 克馬



日本住民は凄まじい核戦争の餌食になっていきます。

一つは言うまでもなく原爆の被害にあつていきます。もう一つは核戦争に関する情報操作の核戦争「知られざる核戦争(矢ヶ崎克馬命名)」。

「知られざる核戦争」の典型的被害はまず被爆者援護法等から内部被爆が隠蔽されました。次に巨大な「知られざる核戦争」は東電事故後の、被曝防護法、汚染、健康被害、死亡者激増、住民に被ばくを受け入れさせる嘘の大連呼です。

ウクライナやガザ虐殺などの武力紛争の際には核兵器の投入が懸念される「武力闘争の拡大」があります。しかし、「知られざる核戦争」は一見平和の中に虐殺が進みます。

「知られざる核戦争」の巨大戦場は今の日本を中心とします。

(1) 東電事故後の「知られざる核戦争」

- ① 被曝することをいかに人々に受け入れさせるか?
② 被曝したことを如何にして知られないようにするか?
③ 被曝した結果の被害を如何に隠し通すか?
④ いかにして核産業の安定した操業ができ、核兵器生産、原発操業体制を守るか?
⑤ トリチウム汚染水海洋投棄を如何に合理化するか?
⑥ 国際原子力ロビーが一貫して被曝を受け入れさせる哲学づくりをしてきた! そのプロセスと手法を認識しま

いかにして被曝を受け入れさせるか。被曝強制システムをどのようにして作るか。第二次世界大戦以降一貫して行ってきたことです。今現在凄まじい情報隠蔽がい

あります。
⑦ 厚労省「人口動態調査」のデータからは、東電事故以来9年間で死亡者の異常増加が、なんと63万人にも上る結果が出てきます。数字の大きさにびっくりして

ください。これが現実です。そのような犠牲を隠蔽する虚構世界をでっちあげる「知られざる核戦争」が日本を中心舞台として進められます。

(2) 事実をありのままに認識することは民主主義の土台である。

事実に基づき、対応いたしまし。各側面について言及させていただきます。沖繩保険医新聞の矢ヶ崎連載記事をぜひご確認ください。原発事故後トリチウム汚染水海洋投棄に特に関連して述べたいと思います。

① IAEAは核兵器と原発を生産維持することの番頭役です。口を裂けても「トリチウムは危険です」等というこ

とではできません。危険を認めれば、トリチウム垂れ流しをしなければ操業できない核産業が維持できなくな

ります。原発だけでなく核兵器事態を生産できなくさせます。
IAEAの「安全は健康の安

全ではなく、核産業営業を続けるための「安全」であり、住民が待ち望む「健康の安全」ではありません。
② IAEAは住民を被爆から守る正反対の「被曝防護さ

せるな」を制度化させました。原発事故が起きたら「永久に汚染された地域に住民を居住させ続けることを前提に新しい体系を作らなければならぬ」と宣言したのです。

③ その直後東電事故が起きた。民主党政権と核体制維持勢力は住民との約束事である「公衆は1ミリシーベルト/年まで」という法律を適用しませんでした。日本を法治国家から逸脱させたのです。そして、防護の逆である「20ミリシーベルト(チェルノブイリ法基準で内部被曝を入れる)と33ミリシーベルト」の基準を設定したので。

④ この結果チェルノブイリ法では「住んではいけません」とされた汚染区分地域に日本では120万人が居住し、生産活動を展開しました。全国に「食べて応援」での内部被曝の二次被害が展開しました。

⑤ 政府と原子力村が「直ちに健康被害が出ません」、「100ベクレル/kg以下は安全」、「笑っていけば放射能は通り過ぎます」、「実被害はありません。風評被害を払しょくすることが大切です」等々、事実を合わないこと(これを虚言と呼びます)を大合唱しました。IAEAの新体系の「心理学的にも責任を持つ対策がどのように実現したのです。

⑥ 事故後特に子供に対する健康被害が激増しています。医療的ケアが必要な子供が8年間で倍増(文科省調べ)、小学生いじめ率が8倍に(文科省調べ)、障害学生:者が激増(文科省、厚労省、学

生支援機構調べ)、人工透析患者が事故前の10倍に達する(厚労省データ)、複雑心奇形、停留精巣の先天的奇形児激増(村瀬ら名古屋国立大学C)等々。

⑦ 厚労省「人口動態調査」は恐ろしい死亡者異常増加を示します。とりわけ恐ろしいと強調したいのは、事故後に死亡率の異常増加が大量に確認されていることです。疎死亡率、年齢調整死亡率、性別年齢別死亡率すべてに2011年以降の死亡率、者が2010年以前に比べて増加しています。特に性別年齢別死亡率においては(年齢ごとの死亡率の異常増加を集計すれば)なんと63万人(9年間で)の死亡率の異常増加がデータから読み取れます。これだけで「やめてくれ!!」と叫びたくなる被害暴露ですが、その反面としてとりあえず短命化として現れた人数が57万人。これらの人は長期的に見ればガンを患い死亡率を上げる恐れがあります(原爆被爆者の「寿命調査(放射線研参照)。

⑧ UNSCEAR(国連科学委員会)は福島の小児甲状腺がんの被ばく線量を50分の1から100分の1ほどに過小評価していることが暴露されました(加藤聡子ら)。

⑨ ICRPは科学的にもデータラメな指標を掲げ、放射線被曝の本当の被害が見えないように設計されている政治基準です。これにより内部被曝被害が一切隠蔽されます(矢ヶ崎克馬)。

会員寄稿 連載③(最終回) 少子化からみる現代の青年期 -少子化対策には何が必要か-

あなたはクリニック/オリブ山病院 滝川 一廣

8 消費社会の価値やモラル

第一次産業(農林水産業)が基幹の農業社会だった自国を第二次産業(製造業)が基幹の工業社会に転換させて高度成長を図った日本は、それが達成された70年代後半からは第三次産業(消費社会)を基幹とする高度消費社会(大衆消費社会)へと転じた。消費産業は消費者個人の欲求に応える商品やサービスを提供したり、新たな欲求を引き出したりすることで発展する産業なので、これが基幹産業の社会では個人の自由な欲求の追求が価値とされる。80年代から若者たちが性交経験に自由に開かれてきた背景にも、これがあつたに違いない。消費社会は、一人一人の個人性を重んじ、個人の自由と欲望を拡大する。その一方、消費産業は就業者者に何を求めるだろうか。対人配慮性や対人コミュニケーション力である。第一次産業は「自然に、第二次産業は「ものに、第三次産業は「ひと」に働きかける仕事だからである。その社会の基幹的な産業が求める労働マナーが、おのずとその社会全体の価値やモラルを形成していく。農業社会ではなによりも勤勉が、工業社会では集団の協同協力がモラルだったように。

9 恋愛からの遠のき

現代の青少年は、生まれたときから上記の価値とモラルの中で育ち、それをメンタリティに深く浸み込ませている。ところが一方、その価値とモラルに適った複雑な関わりがこなせるには、まだ若くて経験値が足りない。うまくこなせないし、自信も持てない。このギャップが現代の青少年に独特の困難をもたらすようになった。児童青年期の臨床をしていると、そのような子どもや若者に出会う。

たとえば学齢期には、それがしばしば不登校の子どもで現れる。勉強が大変いじめられる、等々の具体的負荷は何もない。でも、なぜか教室で緊張する、学校が疲れる...こうした欠席が増えている。教室で過ごすだけで神経を遣ってしまうのである。

このギャップが青年期に入ると、恋愛の世界に開かれながら、そこへ入りそびれる青年たちの増加として現れてくる。恋愛とはなかなか難しい。出会いを得、手探りの接近から告白に踏み切り、相愛となり、性交渉や結婚に至るまでの互いの心の綾は複雑で、ときにもつれる。その上、恋愛は心のやわらかな部分のガードを緩めるし、自分

試されるため、もし失敗したときのダメージ、心の傷は深い。
現代の若者の間で、この難しさが増している。外からの社会的な抑止こそ弱まって自由になっているが(そのぶん自己責任となる)、対人的関わりがセンシティブに神経を遣うものとなり、わけても異性との接近はデリケートになつていく。そのため、そこに踏み込むことへの不安や自信のなさ、失敗や傷つきへの恐れが深まり、それが内からの心理的な抑止となつて、少なからぬ青年たちを性的な交際や恋愛から遠のかせるのである。図1(10月号連載②)の下降曲線はそれを示している。

青年男女の恋愛からの遠のきは、見合い婚が一般性を失って久しい現在、婚姻の減少に直結する。これが「社会的要因」による非婚化と合流して、大きな少子化の流れを作り上げているのである。

10 むすび

ここで大切なのは、青年たちは恋愛や結婚をしたくないのでは決してないことである。愛を願わぬ者がいるわけではなく、心の底には孤独や寂しさ、疎外感が潜んでいる。ときには絶望が、青年層の婚姻が増えぬかぎり出生の増加もありえないけれど、少子化問題の解決策を超えて、若者たちが幸せな結婚を自分の将来に思い描ける社会を再建しなければ、日本に将来はないかもしれない。

⑩ これらの詳細は https://phenixnm.wixsite.com/houshanou-kougai/矢ヶ崎克馬2022年最新重要調査発表「特設ページ」に掲載されています。ご覧いただければ幸いです。